

# 健康管理推進と安全効果

奈良井・庶務課厚生係 飯 吉 明

## I はじめに

近年職場における安全衛生管理については積極的に各種の活動が推進され、当署における災害発生も年々減少傾向にあり、特に第3次労働災害防止5カ年計画3年目の50年度はゼロ災害を達成した。その反面私傷病の休務者は非常に多く、職員の健康管理は安全管理に比較して従来ともやや関心が薄く、衛生活動は消極的で第二義的なきらいがあった。

そこで当署では、衛生管理、健康管理が十分なされてこそ安全が保たれるという考え方から、衛生管理体制の整備をはじめ、病気休職の実態を調査分析し、過去の衛生活動を反省する中で管理医の協力を得て、健康管理の推進と、私傷病の減少を目標に強力な衛生活動を推進した。その結果幸い長期療養者の皆無をはじめ、公務外傷病休務者も年々減少しその成果が徐々にあがりつつあることから、ここに過去の公務外傷病の推移及び健康管理推進の実態とその要旨を発表し、業務の参考に供したい。

## II 過去（5年）の公務外傷病休務の実態と分析

1. 公務外休務日数の実態
2. 傷病別休務日数の実態

表-1、図-1～図-4 参照

## III 衛生活動の内容

1. 衛生管理体制の整備
2. 衛生点検の実施効果
3. 管理医の現場巡視と健康相談の実態

## IV 衛生活動の成果

### 1. 目 標

衛生管理方針の目標に私傷病減少を設定し、職員の関心を高め受診率の向上に努めた。

### 2. 私傷病の減少

私傷病の日数は徐々に減少し、長期療養者は50年以降は皆無となった。

## V お す び

年々職員の健康管理の関心が高まりつつあるが、安全管理に勝る積極的な推進が必要であり、職場と家庭が一体となった生活指導により、1人の休務者のない職場としたい。

表-1 雇用区分別休務日数表

区 分 年 度 別	定員内				常用作業員				定期作業員				合 計				在 職 者 人 員 (人)
	休 務 者 数 (人)	休 務 日 数 (日)	休 務 率 (%)	一 人 当 り 休 務 日 数 (日)	休 務 者 数 (人)	休 務 日 数 (日)	休 務 率 (%)	一 人 当 り 休 務 日 数 (日)	休 務 者 数 (人)	休 務 日 数 (日)	休 務 率 (%)	一 人 当 り 休 務 日 数 (日)	休 務 者 数 (人)	休 務 日 数 (日)	休 務 率 (%)	一 人 当 り 休 務 日 数 (日)	
46	43	495	63	8.1	11	85	40	3.0	2	4	9	0.3	56	584	48	5.4	116
47	39	436	58	6.5	5	98	18	3.6	2	8	9	0.4	46	542	40	4.7	115
48	49	320	74	4.9	6	80	22	3.0	2	9	12	0.6	57	409	52	3.8	109
49	44	379	67	5.8	7	79	25	2.8	2	34	18	3.1	53	492	50	4.7	104
50	43	301	64	4.5	11	54	32	1.6	2	6	28	0.9	56	361	51	3.3	108
5カ年平均			65	5.8			27	3.5				1.3		48	4.3		

図-1 公務外雇用区分別休務実態

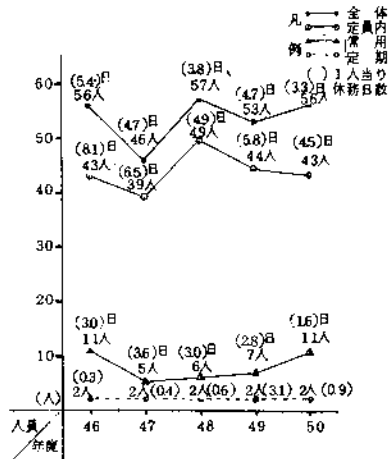


図-2 公災私傷病 1人当り休務日数比較表

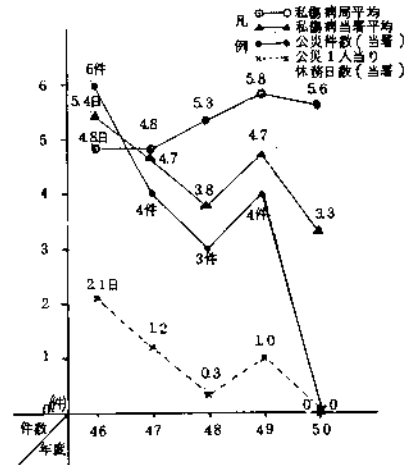


図-3 公務外年度別・傷病別休務日数表

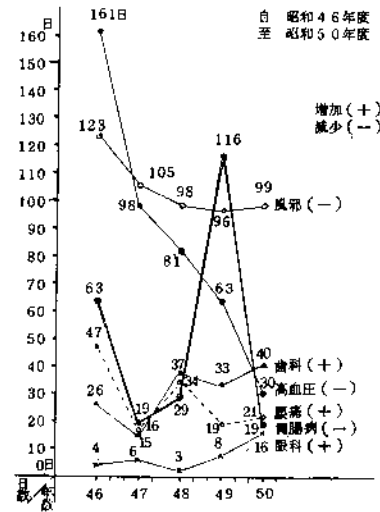
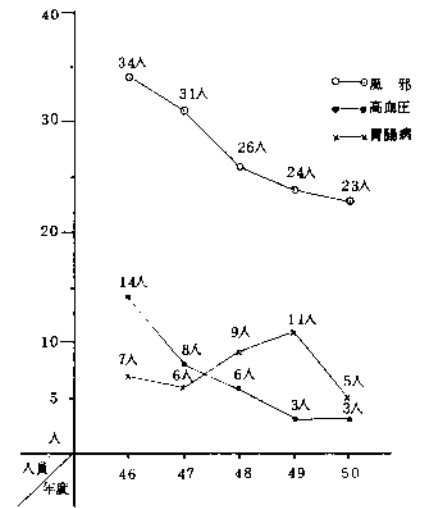


図-4 主なる疾病者の減少推移



助 言

健康問題は対策が難しいが、このように私傷病発生状況と、公務災害との関連をとりあげて指導していくことも一方法と思われる。

今後さらに健康管理、安全管理を積極的に進められたい。